

実践報告

不登校生徒とその保護者、教員らへのホースセラピーの実施と有用性について

光永雅子*

特定非営利活動法人セラピー乗馬てくてく育成会

The implementation and usefulness of horse therapy for school absentee students, their parents, and teachers

MITSUNAGA Masako*

Specified Nonprofit Corporation Serapi-jouba tekuteku ikuseikai

1. はじめに

特定非営利活動法人セラピー乗馬てくてく育成会(2013年活動開始, 2017年NPO法人設立)では, セラピーホース6頭(ポニー3頭, 中間種2頭, サラブレッド1頭)による不登校及び障がいを持つ子どもへの乗馬の他, リハビリ乗馬, フレイル予防乗馬など, 個々人の希望や状態に応じた乗馬を提供しており, 現在, 3歳~75歳の方が利用している。

今回の活動は, 徳島県阿波市教育支援センターに通級する生徒(中学生)とその保護者, 教員らを対象に実施。通常の乗馬の他, ひき馬, 餌やり, ケアの四つの活動から自由に選べるようにすることで, 馬との関

り方のニーズを知り, 乗馬だけの場合と生徒たちの気持ちや行動に違いがあるのかどうかを知ること, また, 生徒だけでなく, 保護者, 教員らにも活動に参加してもらい, 子どもを支える人たちに対するホースセラピーの有用性を探ることを目的とした。

2. 実施方法と参加人数

2023年9月~12月の期間で月1回, 計4回実施。1回の活動時間は約90分。乗馬, ひき馬, 餌やり, ケアの中から希望する活動を選んで行ってもら(全てを選んでも良い)。ケアの内容は, 9月はシャンプー, 10月は毛刈り, 11月は乗馬前のケア, 12月は

表1 参加活動人数の内訳

a: 生徒, b: 保護者, c: 教員, d: 教育実習生, e: スクールカウンセラー

	9/29	10/30	11/24	12/18
乗馬	a:4, b:2, c:2	a:4, d:2, e:1	a:4, d:2, e:1	a:5, b:2, c:2
ひき馬	a:4, b:1, c:1	a:4, d:2	a:4, d:2	a:5, b:2, c:2
餌やり	a:4, b:1, e:1			a:5
ケア	a:5, b:3, c:3	a:4, c:3, d:2, e:1	a:4, c:2, d:2, e:1	a:5, c:3
参観	b:1	なし	なし	b:3
合計	a:5, b:4, c:3, e:1	a:4, c:3, d:2, e:1	a:4, c:2, d:2, e:1	a:5, b:5, c:3

表2 アンケートの質問事項

問1	今日体験したホースセラピーは何でしたか。
問2	これまで何回ホースセラピーを受けましたか。
問3	なぜホースセラピーを受けようと思いましたか。
問4	体験したホースセラピーについて感想をお書きください。
問5	ホースセラピーを受ける前と受けた後で, 気持ちや体調に変化はありましたか。
問6	馬に関する活動で, これから体験してみたいことはありますか。

* 連絡先: masako.mioka@gmail.com

第17回学術大会（2024）要旨

表3 生徒の回答

問3	動物が好きだから。／身近にいない動物だから。／普段の生活では経験できないことだから。
問4	初めてシャンプーをして、すごく楽しかった。／ケアをすることで、もっと愛着がわいた。／乗馬だけのときより馬を身近に感じた。
問5	セラピーを受けるたび、毎回もっと楽しくなる。／上手に乗れるようになるのが嬉しい。／もっといろんなことを体験したいと思うようになった。

表4 保護者の回答

問3	息子が誘ってくれたので。／孫と一緒に参加しようと誘ってくれた。
問4	想像以上に楽しく、馬の揺れが気持ちよかった。／どこまでも遠くへ行ってみようという気持ちになった。
問5	体験の後は気持ちが前向きになった。／活動のあと、気持ちがすっきりした。

表5 教員の回答

問4	見ていると簡単そうだが、なかなか思い通りにいかなかった。／馬上からみる景色はいつもと違い感動した。／馬に揺られているだけで、喜びが湧き上がってくる感じだった。
問5	いつも見ているいなと思っていたので、とにかく楽しかった。／馬と触れ合うことで、心が解放されたような気持ちになった。／馬の扱い方が分からなかったが、それでも触れ合うこと自体が大切なんだと感じた。／活動の後、気持ちがポジティブになった。

表6 教育実習生の回答

問4	初めて馬を触ったが、ケアしたことでとても身近に感じ愛着がわいた。／言葉は通じないけれど、心が通い合うような気持ちになれた。／生徒たちが乗り方や馬の個性を教えてくれて、とても楽しかった。／どこまでも馬に乗って走ってみたいと思った。
問5	馬との時間に心身ともに癒された。／とてもリラックスした気持ちになり、セラピーの意義を改めて感じる事ができた。／馬たちが受け入れてくれたおかげで、とても穏やかな気持ちになった。

表7 スクールカウンセラーの回答

問4	乗馬の前は怖いと思っていたが、実際に乗って見るととても気持ちが良かった。／生徒たちが装具の付け方を教えてくれたりして、とても楽しく体験ができた。
問5	思い切って乗馬をして、気持ちが晴れ晴れした。／乗る前はわくわくしていたが、乗った後は、馬にも人にも感謝の気持ちがわいてきた。／生徒たちが積極的に活動をしているのを見て感心した。

乗馬後のケアを行った。それぞれの活動に指導員がつき、乗馬歴のあるボランティアが補助を行った。なお、活動には参加しないが、参観を希望した人数も記載した。

3. 評価方法

評価方法としてアンケートを実施し、その回答を評価とした。アンケートは記述式であり、参加者全員から回答と発表についての同意を得ている。回答の中から抜粋して報告する。

4. おわりに

アンケートの回答から、今回の活動は参加者の立場、年齢を問わず、気持ちや行動に良い影響を与えたことが伺える。動物に乗る、あるいは触れるという多様で広範な体感を伴った馬との活動がもたらす影響を、今後も継続して調査していきたいと考えている。

なお今回の活動は、ハートフル社会貢献基金、赤い羽根共同募金徳島県共同募金会より助成を得て実施した。両団体に心から感謝申し上げる。